

令和9年度 AMED橋渡し研究シーズ公募説明会

AMED橋渡し研究プログラム・及び九大拠点について

九州大学生命科学革新実現化拠点
橋渡し研究推進部門



九州大学生命科学革新実現化拠点とは

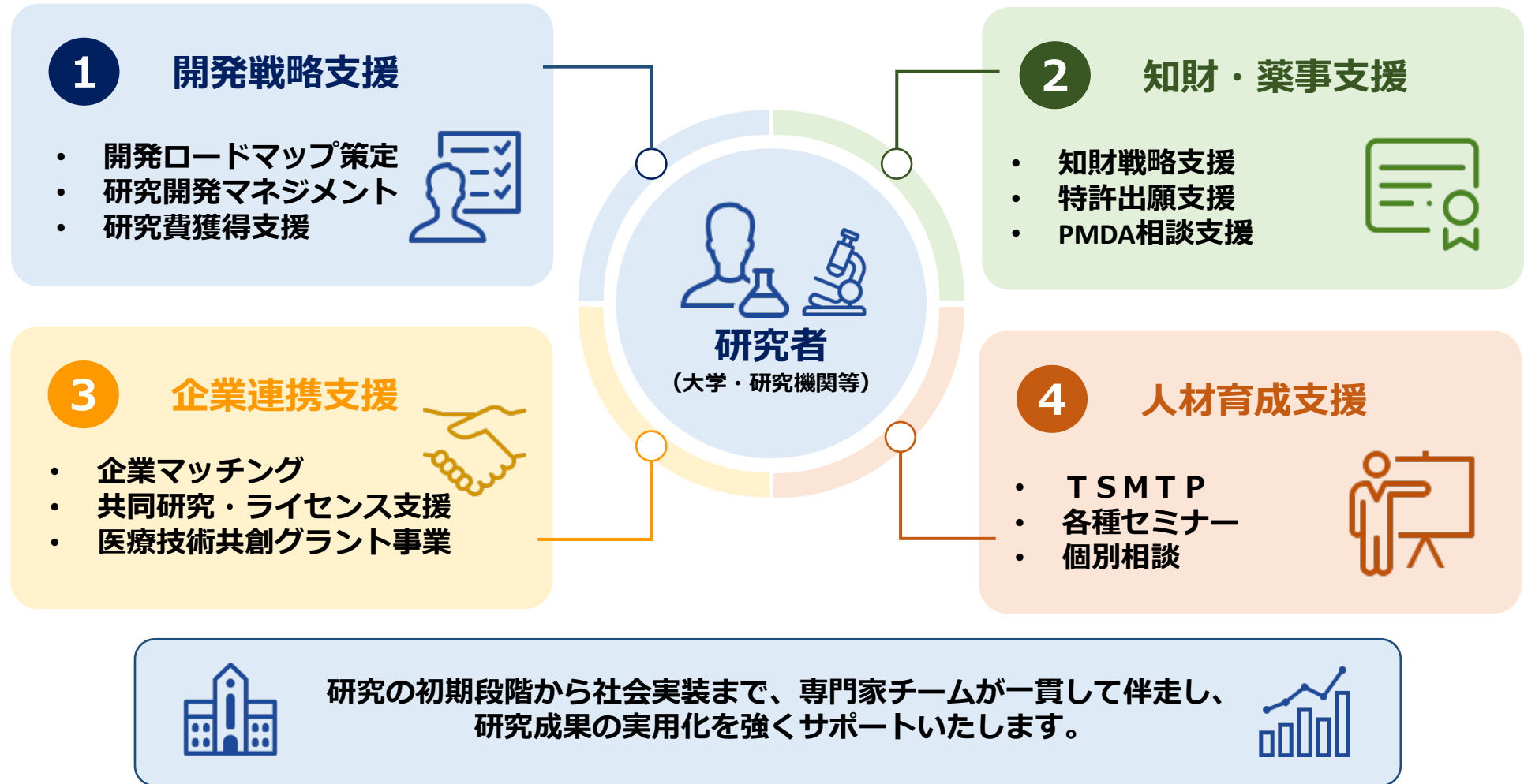
研究成果の実用化を目指す研究者を、研究開発から事業化まで一貫して支援します

- ◆ AMED認定「橋渡し研究支援機関」(全国12拠点)の一つ
- ◆ 医薬品、医療機器、再生医療等製品、体外診断用医薬品等を対象に支援
- ◆ 研究費支援と専門家による伴走支援を提供
- ◆ 九州・沖縄地域を中心としたネットワーク(WAT-NeW: 29大学)と連携し、研究成果の社会実装を推進



九州大学拠点の伴走支援

研究開発の各段階に応じて、実用化に向けた専門家チームによる伴走支援を行います



橋渡し研究プログラムの全体像

基礎研究

応用研究

非臨床研究

臨床研究・治験

実用化・社会実装

シーズA



実用化可能性の検証

- ・ 知財戦略の策定
- ・ 関連特許出願
- ・ 企業との議論開始
- ・ preF、AMED他事業へのステージアップ

preF



非臨床POC取得に必要な試験パッケージの確定

- ・ 開発コンセプトの確立
- ・ 仕様・投与方法等の決定
- ・ 試験計画の策定
- ・ PMDA対面助言の実施

シーズB

非臨床POCの取得



- ・ GLP製造
- ・ 薬効薬理試験
- ・ 安全性試験（GLP）
- ・ 試験結果の取得

シーズC

医師主導治験・臨床POC取得



- ・ 医師主導治験
- ・ 承認申請に向けた準備
- ・ 臨床POC取得

シーズF#



企業と共同で臨床POC取得を目指す研究開発を推進

企業導出・社会実装



患者さんのもとへ

- ・ 承認申請・承認取得
- ・ 上市・適切な普及
- ・ 社会課題の解決

シーズF（企業と共同で非臨床試験から臨床試験までを一体的に推進）



企業と連携し、非臨床研究（シーズB）から臨床研究（シーズC）までを一体的に実施します。

その他の支援区分

医歯薬系以外の技術の医療応用

シーズH

医歯薬系以外の先端技術・知識を活用した異分野融合型研究開発を支援

シーズS

大学発スタートアップ創出・成長支援

起業を通じた研究成果の実用化・事業化を支援

本説明会の対象となる公募区分

シーズA、preF、シーズB、シーズF、シーズF#、シーズC



KYUSHU
UNIVERSITY

橋渡し研究プログラムの全体像 - 支援期間・研究開発費 -

基礎研究

応用研究

非臨床研究

臨床研究・治験

実用化・社会実装

シーズA



実用化可能性の検証

2年間

250万円
(初年度のみ)



preF



非臨床POC取得に必要な
試験パッケージの確定

2年間

1000万円×2



シーズB

非臨床POCの取得



3年間

5000万円×3



シーズC

医師主導治験・臨床POC取得



Ca : 1000万円→Cb
Cb : 8000万円×3

シーズF# 3年間



9000万円×3



企業導出・
社会実装



患者さんのもとへ

シーズF (企業と共同で非臨床試験から臨床試験までを一体的に推進)



5年間 (ステージゲートあり)

非臨床7000万円×2→臨床9000万円×3

その他の支援区分

医歯薬系以外の技術の医療応用

シーズH

未定

シーズS

大学発スタートアップ創出・成長支援

S0 : 1000万円×2

S1 : 3000万円×3

S2 : 1.5億円×2

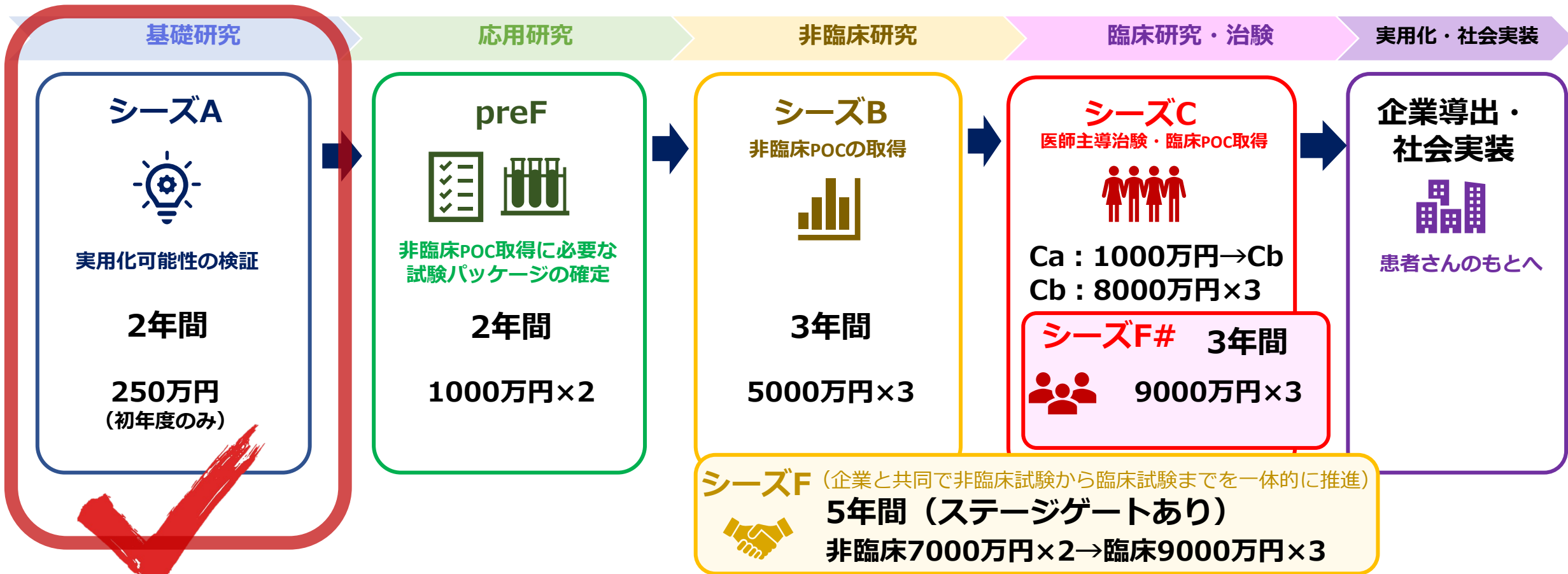
本説明会の対象となる公募区分

シーズA、preF、シーズB、
シーズF、シーズF#、シーズC



KYUSHU
UNIVERSITY

シーズAについて



その他の支援区分

医歯薬系以外の技術の医療応用

シーズH

未定

シーズS

大学発スタートアップ創出・成長支援

S0 : 1000万円×2

S1 : 3000万円×3

S2 : 1.5億円×2

本説明会の対象となる公募区分

シーズA、preF、シーズB、
シーズF、シーズF#、シーズC



対象

- ・ 大学等のオリジナルな研究成果による課題
- ・ 新規の医薬品・医療機器・再生医療等製品・診断薬・診断機器の実用化に結びつく可能性のある課題
- ・ preF 等へのステージアップを目指す課題
- ・ 2 年以内に特許を出願、または所属機関の担当部署と連携して知財戦略を策定する課題
- ・ 企業との共同研究もしくは企業導出を目指す課題

求められる成果

- ・ preF 等へのステージアップや AMED 他事業等への応募
- ・ 関連特許出願、または知財戦略の策定
- ・ 共同研究/導出/実用化に向けた企業との議論の開始

申請書類

- ・ シーズA提案書（Word形式、PDF形式）
 - ・ 研究概要（PowerPoint形式、PDF形式）
- ※公募要領も必ずご確認ください！

選考方法

本拠点審査員およびWAT-NeW加盟機関審査員が以下の項目を中心に評価

- ① 知財性（特許出願の具体的な計画が立案されていること）
- ② 事業性
- ③ 医療応用性
- ④ preF等への発展性
- ⑤ 研究の妥当性

研究開発費および支援期間

- ・研究開発費：1 課題あたり年間 **250 万円**程度
- ・採択件数：25 件程度
- ・支援期間：令和 9 年 4 月 1 日から令和 11 年 3 月 31 日 **(令和 9～10年度)**
- ・研究開発費の使用期限：令和 10 年 3 月 31 日 **(初年度のみ)**

追加支援

実績(R8年度)

- ・2年目の研究費配分 **100万円** x 6課題

実績(R7年度)

- ・2年目の研究費配分 **150万円** x 4課題

実績(R6年度)

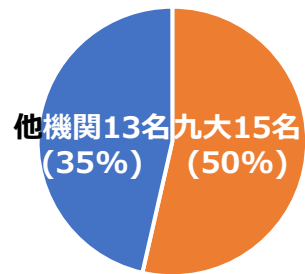
- ・2年目の研究費配分 **100万円** x 6課題

シーズA 採択実績

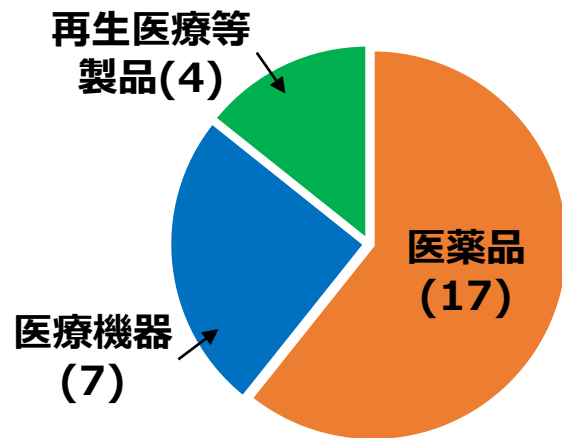
2024年度

2026年度	応募数	採択数	採択率(%)
九州大	30	15	50
他機関	37	13	35
合計	67	28	42

採択率



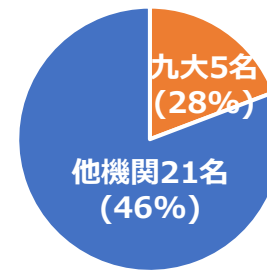
モダリティ



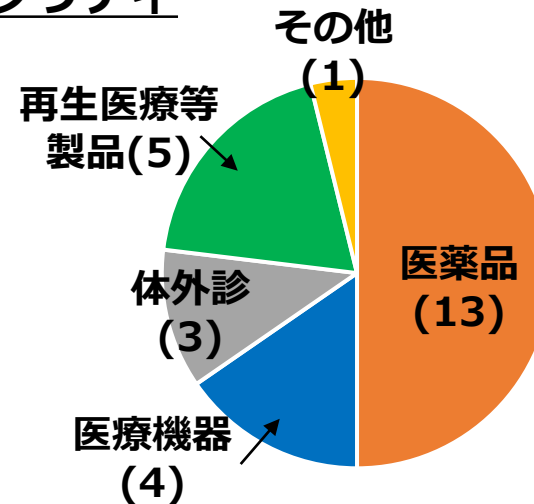
2025年度

2025年度	応募数	採択数	採択率(%)
九州大	18	5	28
他機関	46	21	46
合計	64	26	41

採択率



モダリティ

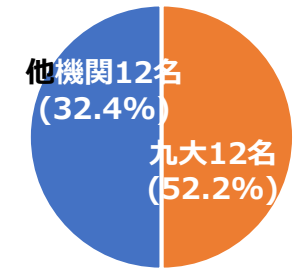


基礎研究

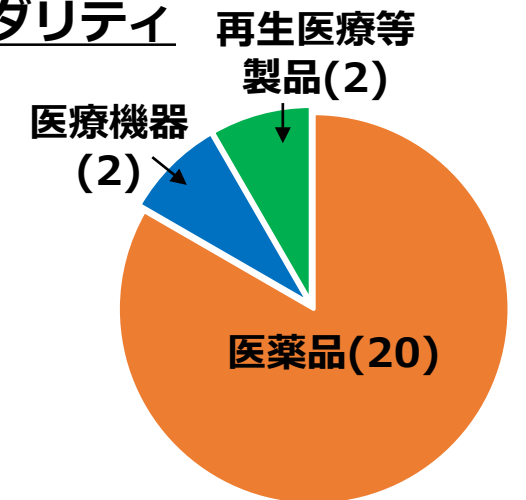
2026年度

2026年度	応募数	採択数	採択率(%)
九州大	23	12	52.2
他機関	37	12	32.4
合計	60	24	40.0

採択率



モダリティ



preF/F/B/F#/Cについて

基礎研究

応用研究

非臨床研究

臨床研究・治験

実用化・社会実装

シーズA



実用化可能性の検証

2年間

250万円
(初年度のみ)

preF



非臨床POC取得に必要な
試験パッケージの確定

2年間

1000万円×2

シーズB

非臨床POCの取得



3年間

5000万円×3

シーズC

医師主導治験・臨床POC取得



Ca : 1000万円→Cb
Cb : 8000万円×3

シーズF# 3年間



9000万円×3

企業導出・
社会実装



患者さんのもとへ

シーズF (企業と共同で非臨床試験から臨床試験までを一体的に推進)



5年間 (ステージゲートあり)

非臨床7000万円×2→臨床9000万円×3

その他の支援区分

医歯薬系以外の技術の医療応用

シーズH

未定

シーズS

大学発スタートアップ創出・成長支援

S0 : 1000万円×2

S1 : 3000万円×3

S2 : 1.5億円×2

本説明会の対象となる公募区分

シーズA、preF、シーズB、
シーズF、シーズF#、シーズC



応募・審査の流れ

【シーズA】1段階審査、拠点との委託契約

拠点申請 → 拠点審査 → 採択/不採択

【preF/F/B/F#/C】2段階審査、AMEDとの委託契約

拠点申請 → 拠点推薦 → AMED申請 → AMED審査

※R8年度公募にて以降説明

フェーズに応じた戦略的シーズ開発

◆Early phase : 基礎～応用

【異分野】 機関内外の支援依頼シーズについて、
【シーズA】 機関内の評価委員会の判定に基づき
機関の裁量で研究費を配分



◆Late phase (応用～臨床、産学協働)

【preF】 機関内外からの支援依頼シーズのうち、研究費支援を
【シーズF】 希望するシーズについて、機関がAMEDに支援候補
【シーズB】 シーズとして申請
【シーズC】



※橋渡し研究支援機関は医療実用化のための開発支援を行い、研究者は受給した研究費から支援に対する対価を支払う仕組みになっています。

対象

- ・ 非臨床POC取得に必要な試験パッケージの策定・産学協働体制の確立を目指す課題
 - ・ **関連特許出願済み※**で、**治験等開始に必須な非臨床試験の項目確定**等を目指す研究開発課題
- ※知財戦略上の理由により応募時点で未出願の場合を含む（理由を説明）

INDパッケージ確定

応募時に満たすべき条件

- ・ 非臨床試験項目の**RS戦略相談（対面助言）を期間内に受ける蓋然性の高い**研究・開発計画
- ・ 企業との連携を行うための計画の策定
- ・ 課題を支援する橋渡し拠点のプロジェクトマネージャー（PM）の指定
- ・ 各年度四半期毎のマイルストーンと未達時の対応策の提示

求められる成果

- ・ 導出や実用化に向けた企業との連携体制の構築
- ・ 治験等開始に必須な非臨床試験実施項目の確定（**期間内に対面助言を終了**）
- ・ 臨床性能試験開始の準備完了（体外診断用医薬品等の場合）
- ・ シーズB/Fへのステージアップ

シーズF 募集内容

非臨床研究

臨床研究・治験

対象

ステージゲート審査あり

- ・ 実用化の加速のため**産学協働**でPOC取得を目指す課題
- ・ 関連特許出願済みで企業連携が確立、最長5年度以内に産学協働で目標到達を目指す研究開発課題
 - **非臨床POC取得後、臨床POC取得を目指す**医薬品・医療機器等／**薬事申請用データ取得を目指す**体外診断用医薬品等
 - 医療への適応のため早期・戦略的な企業導出を目指す課題

応募時に満たすべき条件

- ・ 大学等と企業の**共同提案**で、役割分担が明確な研究開発体制の構築
- ・ 企業連携が確立（製販企業への導出交渉「有（内諾含む）」等）し、**連携企業も自ら企業リソースを割いて**研究開発を実施
- ・ 研究開発代表者・橋渡し拠点PM・実用化担当者（拠点及び連携企業）の設置
- ・ PMDA**対面助言**で非臨床試験内容の**合意済み**、また、その試験パッケージ・実施費用の内訳を提示すること（B共通）
- ・ ステージゲート（2年度目終了）時に臨床試験準備（PMDA対面助言で**臨床プロトコルの合意取得、3年目早期に治験開始、治験製品の製造バリデーション完了、医師主導治験等の実施候補施設を選定、症例組入れの具体的な方策と組入れのスケジュールを示す、後半ステージで企業リソースを更に充実させる**）が完了する計画であること
- ・ ステージゲート通過後3年度以内に臨床POC取得・製販企業導出を達成する蓋然性の高い計画を有する
- ・ 各年度四半期毎のマイルストーンと未達時の対応策を示す

求められる成果

- ・ 支援開始2年度目終了時（ステージゲート）までに治験準備完了、後半ステージに向けた企業リソースのさらなる充実の準備
- ・ ステージゲート通過後3年度以内に臨床POC取得、製販企業導出



対象

- ・ 実用化の加速のため**産学協働で臨床POC取得**を目指し臨床試験を行う課題
- ・ **関連特許出願及び非臨床POC取得済みで企業連携が確立**、最長3年度以内に目標到達を目指す研究開発課題
（期間内に治験・臨床試験の観察期間終了（Last Patient Out）まで終了できる課題）
 - 臨床POC取得を目指す医薬品・医療機器等／早期・戦略的な企業導出を目指す課題

応募時に満たすべき条件

- ・ 大学等と企業の**共同提案**で、役割分担が明確な研究開発体制の構築
- ・ 企業連携が確立（製販企業への導出交渉「有（内諾含む）」等）し、**連携企業も自ら企業リソースを割いて**研究開発を実施
- ・ 研究開発代表者・橋渡し拠点PM・実用化担当者（拠点及び連携企業）の設置
- ・ PMDA**対面助言で臨床試験内容の合意**（議事録等を提出）
- ・ 採択後速やかに（概ね2か月以内）**倫理審査申請**の準備、**治験製品のバリデーション完了、実施候補施設の選定、症例組入れの具体的な方策と組入れのスケジュールを示す**
- ・ 期間内に臨床POC取得・製販企業導出を達成する蓋然性の高い計画を有する
- ・ 各年度四半期毎のマイルストーンと未達時の対応策を示す

求められる成果

- ・ 臨床POC取得、製販企業導出

対象

- ・ 非臨床POC取得を目指す研究開発課題
- ・ 関連特許出願済みで、最長3年度以内に目標到達を目指す研究開発課題
(申請時点での企業連携は必須ではないが、期間中に企業連携を目指す計画がある課題)
- **非臨床POC取得・治験届提出を目指す**医薬品・医療機器等／**薬事申請用臨床データ取得**を目指す体外診断用医薬品等

応募時に満たすべき条件

- ・ PMDA**対面助言で非臨床試験内容の合意**、試験パッケージ・実施費用の内訳を提示
- ・ 研究開発期間終了時点で非臨床POC取得が可能な研究計画
- ・ 企業連携が無い場合は、その理由と支援期間中の連携計画・対話の場への参画計画
- ・ 課題を支援する橋渡し拠点PMの指定
- ・ 各年度四半期毎のマイルストーンと未達時の対応策

求められる成果

- ・ 治験等を行うのに必要な非臨床POCの取得
- ・ シーズF#又はCへのステージアップ、企業導出 等

シーズC (Ca/Cb) 募集内容

臨床研究・治験

対象

- ・ 臨床POC取得を目指す臨床研究課題
 - C(a)** 臨床試験に向けた**準備**・臨床試験を行う課題（**ステージゲート審査あり**）
 - C(b)** 臨床試験を行う課題（臨床試験に向けた準備が整っている課題）
- ・ **関連特許出願及び非臨床POC取得済み**で、臨床試験を実施し目標到達を目指す研究開発課題
 - 健常人・患者を対象に臨床POC取得を目指す医薬品等／承認・認証を目指す医療機器等の臨床研究開発課題

応募時に満たすべき条件

- ・ C(a)について、ステージゲート（1年度目終了時）までに**臨床試験内容の対面助言合意・倫理審査申請準備・治験製品バリデーション・実施施設選定が可能な計画**
- ※**C(b)については、上記が全て完了していること**
 - ・ 医師主導治験等の実施費用の内訳を見積書で提示
 - ・ 企業連携が無い場合は支援期間中の連携計画・対話の場への参画計画
 - ・ 課題を支援する橋渡し拠点のPMの指定
 - ・ 各年度四半期毎のマイルストーンと、観察期間終了までの完了計画・対応策

求められる成果

- ・ 臨床POC取得、企業導出、薬事承認・認証 等
（C(a)はステージゲートまでに医師主導治験等の準備完了）

九大拠点の審査基準も
AMEDの基準に準じます

preF/F/B/F#/Cにおける 審査の方法と評価について



審査の方法と評価の観点（共通事項/AMED）

九大拠点の審査基準も
AMEDの基準に準じます

■ 審査方法

- ・ 課題評価委員会による事前評価（審査）を行い、これをもとにAMEDが採択課題を決定。
- ・ 審査は非公開。提出書類の**書面審査**に加え、必要に応じて**ヒアリング審査（拠点の場合は照会事項を発出）**を実施。
- ・ 採択に当たり、目標・実施計画・実施体制の修正や、経費の変更を伴う採択条件が付くことがあります。

■ 評価の観点（全ステージ共通の枠組み）

- (A) 事業趣旨等との整合性：事業趣旨・目標との合致※、応募要件の充足※、実施の必要性・緊急性
- (B) 事業目標達成の可能性：各ステージの到達目標を研究開発期間内に達成できるか
- (C) 科学的・技術的な意義及び優位性：技術レベル・実績、**革新性、医療上の必要性・既存治療への優位性**
- (D) 計画の妥当性と実施可能性：計画の明確さ・実現性、エフォート、倫理・安全の法令遵守※、研究開発費の妥当性
- (E) 研究開発実施と支援体制：研究開発体制、橋渡し支援機関の方針・Go/No-go、マイルストーン、PMDA戦略相談の反映
- (F) 実用化に向けて総合的に勘案すべき項目：リスク、競合優位性、実用化ロードマップ、企業連携、規制対応
- (G) 産学連携の妥当性：役割分担・企業リソース・実施基盤（シーズF・F#のみ）

総合評価：10段階評価により各観点を勘案して総合的に評価

※印の項目は、委員会の評価において半数以上の委員が「不適」と判断した場合、不採択となります。



- (A) 事業趣旨等との整合性：事業趣旨・目標に合致しているか（※）／応募に際して満たすべき事項を全て満たしているか（※）／実施の必要性・緊急性
- (B) 事業目標達成の可能性：期間内に治験開始に必須な非臨床試験項目を確定できるか／将来の導出等に向けた企業連携を確立できるか
- (C) 科学的・技術的な意義及び優位性：技術レベル・実績は十分か／革新的な医薬品・医療機器等の創出に繋がるか／医療上の必要性・既存治療への優位性
- (D) 計画の妥当性と実施可能性：全体計画の目的の明確さ／年度計画の具体性・実現可能性／エフォートの適切さ／生命倫理・安全対策の法令遵守（※）／研究開発費の妥当性
- (E) 研究開発実施と橋渡し研究支援機関の支援体制：研究開発代表者を中心とした体制／支援機関の開発方針・Go/No-go基準／数値目標・マイルストーン／PMDA戦略相談の反映／連携体制／支援費用の妥当性
- (F) 実用化に向けて総合的に勘案すべき項目：主なハードル・リスクの明確化／非臨床試験項目確定の見込み／競合品への優位性／実用化ロードマップ／民間企業との連携（無い場合は連携計画）／規制対応の時期
- (G) 総合評価：10段階評価により(A)～(F)を勘案して総合評価

※印の項目は、半数以上の委員が「不適」と判断した場合に不採択となります。

シーズF 審査項目と観点

非臨床研究

臨床研究・治験

ステージゲート審査あり

- (A) 事業趣旨等との整合性：事業趣旨・目標に合致しているか（※）／応募に際して満たすべき事項を全て満たしているか（※）／実施の必要性・緊急性
- (B) 事業目標達成の可能性：**2年度目終了時のステージゲートまでに臨床試験の準備完了・製販企業との交渉開始／通過後3年度以内に臨床POC取得・企業導出等、シーズFの目標に到達できるか**
- (C) 科学的・技術的な意義及び優位性：技術レベル・実績は十分か／革新的な創出に繋がるか／医療上の必要性・既存治療への優位性
- (D) 計画の妥当性と実施可能性：全体計画の目的の明確さ／年度計画の具体性・実現性／エフォートの適切さ／生命倫理・安全対策の法令遵守（※）／研究開発費の妥当性
- (E) 研究開発実施と橋渡し研究支援機関の支援体制：研究開発体制／支援機関の開発方針・Go/No-go基準／数値目標・マイルストーン／PMDA戦略相談の反映／連携体制／支援費用の妥当性
- (F) 実用化に向けて総合的に勘案すべき項目：ハードル・リスクの明確化／**終了後に製販企業へ導出する交渉計画**／競合品への優位性／実用化ロードマップ／規制対応の時期
- (G) 産学連携の妥当性：**企業と大学等の役割分担の明確さ・適切な連携（共同提案）／企業規模・研究費に応じた企業リソース提供の準備／提案企業の技術的基盤・人員・経営基盤**
- (H) 総合評価：10段階評価により(A)～(G)を勘案して総合評価

※印の項目は、半数以上の委員が「不適」と判断した場合に不採択となります。

- (A) 事業趣旨等との整合性：事業趣旨・目標に合致しているか（※）／応募に際して満たすべき事項を全て満たしているか（※）／実施の必要性・緊急性
- (B) 事業目標達成の可能性：**採択後速やかに治験等を開始し、期間終了時に観察期間（Last Patient Out）まで無理なく終了できるか（終了しない場合の対応策）／臨床POC取得・企業導出等、シーズF#の目標に到達できるか**
- (C) 科学的・技術的な意義及び優位性：技術レベル・実績は十分か／革新的な創出に繋がるか／医療上の必要性・優位性（臨床的位置付け）の明確さ
- (D) 計画の妥当性と実施可能性：全体計画の目的の明確さ／年度計画の具体性・実現性／エフォートの適切さ／生命倫理・安全対策の法令遵守（※）／研究開発費の妥当性
- (E) 研究開発実施と橋渡し研究支援機関の支援体制：研究開発体制／開発方針・Go/No-go基準／数値目標・マイルストーン／PMDA戦略相談の反映／**代表者・分担者・支援機関・企業の連携体制**／支援費用の妥当性
- (F) 実用化に向けて総合的に勘案すべき項目：ハードル・リスクの明確化／**製品化・医療現場での使用の想定**／競合品への優位性／実用化ロードマップ／終了時の企業導出の見込み
- (G) 産学連携の妥当性：**企業と大学等の役割分担・適切な連携（共同提案）／企業リソース提供の準備／提案企業の技術的基盤・人員・経営基盤**
- (H) 総合評価：10段階評価により(A)～(G)を勘案して総合評価

※印の項目は、半数以上の委員が「不適」と判断した場合に不採択となります。

シーズB 審査項目と観点

非臨床研究

- (A) 事業趣旨等との整合性：事業趣旨・目標に合致しているか（※）／応募に際して満たすべき事項を全て満たしているか（※）／実施の必要性・緊急性／革新性・疾患特性等から支援の必要性が高いか
- (B) 事業目標達成の可能性：**3年度以内に非臨床POC取得等、シーズBの目標に到達できるか**
- (C) 科学的・技術的な意義及び優位性：技術レベル・実績は十分か／革新性の非常に高い創出に繋がるか／医療上の必要性・既存治療への優位性
- (D) 計画の妥当性と実施可能性：全体計画の目的の明確さ／年度計画の具体性・実現性／エフォートの適切さ／生命倫理・安全対策の法令遵守（※）／研究開発費の妥当性
- (E) 研究開発実施と橋渡し研究支援機関の支援体制：研究開発体制／開発方針・Go/No-go基準／数値目標・マイルストーン／PMDA戦略相談の反映／連携体制／支援費用の妥当性
- (F) 実用化に向けて総合的に勘案すべき項目：ハードル・リスクの明確化／**終了時の企業導出等、次ステージへの進展の見込み**／競合品への優位性／実用化ロードマップ／民間企業との連携（無い場合は連携計画）／規制対応の時期
- (G) 総合評価：10段階評価により(A)～(F)を勘案して総合評価

※印の項目は、半数以上の委員が「不適」と判断した場合に不採択となります。

- (A) 事業趣旨等との整合性：事業趣旨・目標に合致しているか（※）／応募に際して満たすべき事項を全て満たしているか（※）／実施の必要性・緊急性
- (B) 事業目標達成の可能性：**当該年度内に治験等の開始準備を完了できるか（準備・臨床試験を行う課題）／採択後速やかに治験等を開始し観察期間（LPO）まで無理なく終了できるか（臨床試験を行う課題、終了しない場合の対応策）**
- (C) 科学的・技術的な意義及び優位性：技術レベル・実績は十分か／革新的な創出に繋がるか／医療上の必要性・優位性（臨床的位置付け）の明確さ
- (D) 計画の妥当性と実施可能性：全体計画の目的の明確さ／年度計画の具体性・実現性／エフォートの適切さ／生命倫理・安全対策の法令遵守（※）／研究開発費の妥当性
- (E) 研究開発実施と橋渡し研究支援機関の支援体制：研究開発体制／開発方針・Go/No-go基準／数値目標・マイルストーン／PMDA戦略相談の反映／代表者・分担者・支援機関・企業の連携体制／支援費用の妥当性
- (F) 実用化に向けて総合的に勘案すべき項目：ハードル・リスクの明確化／**製品化・医療現場での使用の想定**／競合品への優位性／実用化ロードマップ／**概ね1年後までの治験等開始の見込み（準備・臨床試験を行う課題）**／終了時の企業導出の見込み
- (G) 総合評価：10段階評価により(A)～(F)を勘案して総合評価

※印の項目は、半数以上の委員が「不適」と判断した場合に不採択となります。

評価のポイント



医療ニーズ



新規性・優位性



知財戦略



実現可能性



次のステージへの
発展性

医療機器開発課題に関する特記事項

薬事承認申請上の分類が「医療機器」に該当する課題は、各ステージの審査に加え、以下の事業化促進に向けた支援の必要性の観点でも審査され、研究開発代表者へ**実用化プログラム**の案内をすることがあります。

- ・ 医療現場のニーズ、医療現場へもたらすメリット、臨床的意義が明確か
- ・ 医療ニーズが市場性（普遍性）を有しているか
- ・ 開発機器のコンセプトは明確か
- ・ 開発機器は競争優位性を有しているか、競争戦略が明確か
- ・ 出口戦略が明確か
- ・ 販売戦略は適切か
- ・ 許認可戦略は適切か
- ・ 保険収載戦略は適切か（学会連携が望ましい）
- ・ 利益が出て資金回収の目処が立っているか

preF/F/F#/B/C 採択関連情報

参考) R8年度公募及び結果

採択予定数 0～20 0～2 0～1 0～5 0～2 0～1

	preF	シーズF	シーズF#	シーズB	シーズC (a)	シーズC (b)
申請数	87	13	1	26	11	6
書類審査通過数	29	4	1	13	5	3
採択数	22※	2	1	5	2	1

※うち1課題は辞退となりました。

詳細はAMED HP参照（R8年度公募要領、採択結果）

[000153906.pdf](#)

[令和8年度「橋渡し研究プログラム（preF、シーズF、シーズB、シーズC）」の採択課題について | 国立研究開発法人日本医療研究開発機構](#)



公募スケジュール

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
 シーズA 実用化可能性の検証		公募期間 8/3(月) ~ 10/12(月) 締切		審査期間			採否決定 ★2月上旬(予定)			
 preF/B/F/F#/C 研究のステージに応じた支援プログラム		受付期間 8/3(月) ~ 9/30(火) 締切		審査期間		AMED申請 (12月～1月)	AMED審査		採否決定 ★4月中旬(予定)	

個別相談期間
(事前相談をお勧めしています)

シーズA	
 公募期間	2026年8月3日(月)～ 10月12日(月) 締切
 支援期間	2027年4月～2029年3月 (2年間)

preF / B / F / F# / C	
 公募期間	2026年8月3日(月)～ 9月30日(月) 締切
 AMED申請	2026年12月～2027年1月 (予定)
 採択決定	2027年4月中旬(予定)

応募の流れ

1



公募ページへアクセス

公募専用サイトにアクセスし、募集要領・必要書式をダウンロードしてください。

2



応募フォーム入力

オンライン応募フォームに必要事項を入力してください。

3



提案書等のアップロード

応募フォーム内の所定の箇所に必要書類（提案書等）をアップロードしてください。

4



応募完了

送信後、受付確認メールが届いたら応募完了です。
締切日時を必ずご確認ください。
確認メールが届かない場合は、ご連絡ください



シーズA 応募ページ

<https://www.aro.med.kyushu-u.ac.jp/hashiwatashi/seedsa>



preF / F / B / F# / C 応募ページ

<https://www.aro.med.kyushu-u.ac.jp/hashiwatashi/seedsfbc>

提出書類一覧

提出書類	A	preF	F	B	F#	C(a)(b)
提案書	● 必須	● 必須	● 必須	● 必須	● 必須	● 必須
概要資料	● 必須	● 必須	● 必須	● 必須	- 不要	- 不要

提出形式



提案書

- ・ シーズA : Word形式およびPDF形式で提出
- ・ その他のシーズ : Word形式またはPDF形式で提出

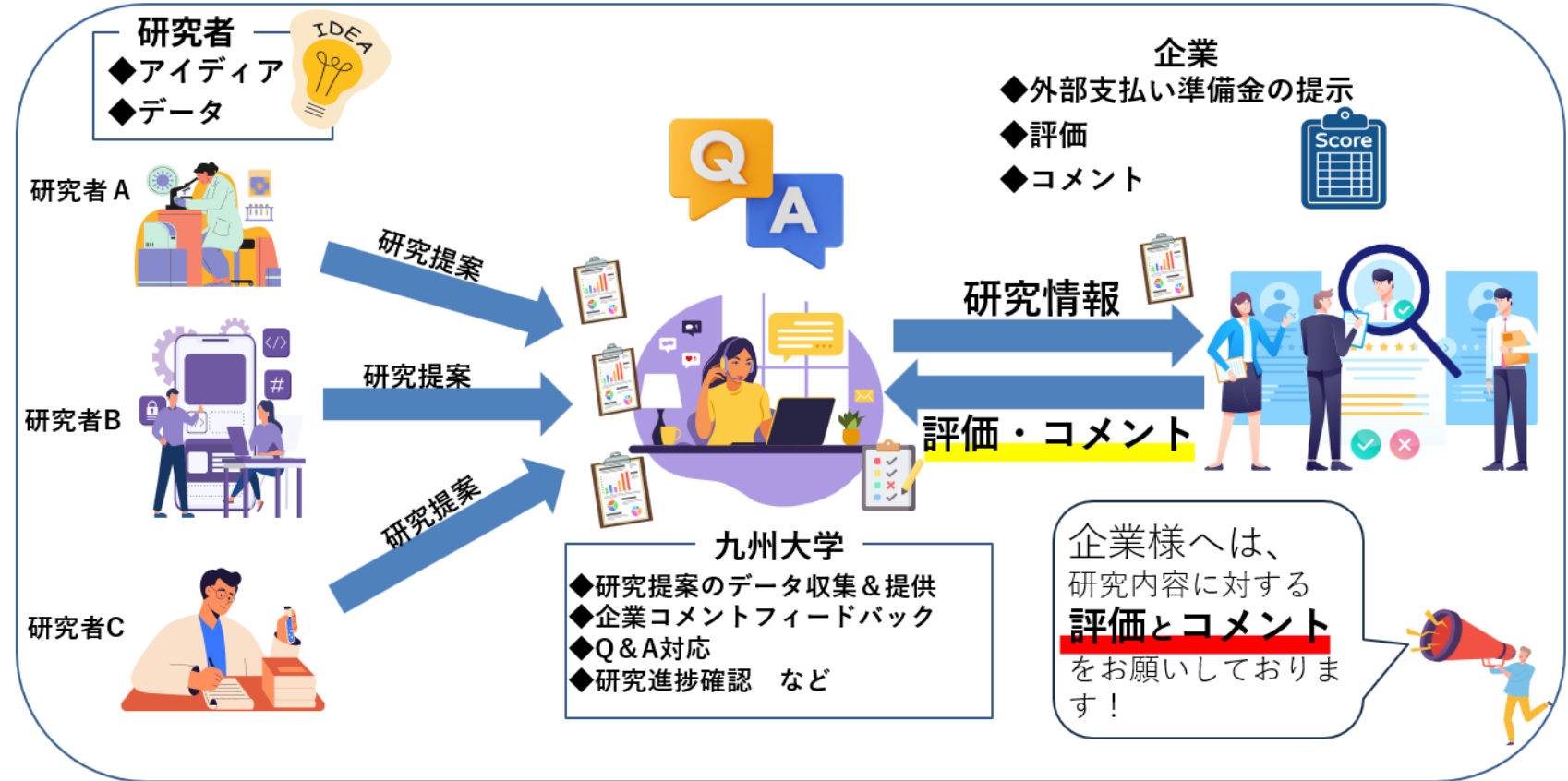
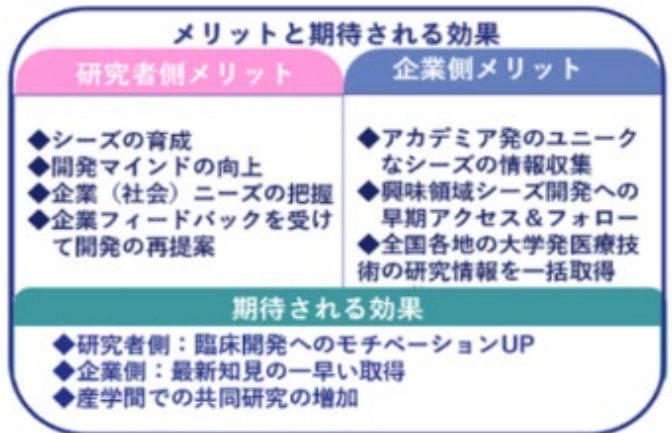


概要資料

- ・ シーズA : PowerPoint形式およびPDF形式で提出
- ・ preF / F / B : PowerPoint形式またはPDF形式で提出

シーズマッチング支援-医療技術共創グラント事業-

「企業ニーズ」と「アカデミアシーズ」をつなぐ



九州大学がHUBとなり、共同研究までを包括的にサポートいたします。

個別相談について

相談対象



公募要領記載内容の確認



シーズの該当性



申請書の記載方法



各種試験計画の該当性

等

実施期間・申込方法

実施期間

シーズA： 令和8年7月16日～9月24日

preF / F / B： 令和8年7月7日～9月25日

シーズC/F#： 適宜

申込方法

シーズA / preF / F / B：

各応募ページの「個別相談」の申込フォームにて必要事項を記載の上、お申込みください。

※相談時間は30分～45分程度です。

シーズC / F#：

下記メールアドレスにお問い合わせください。

E-mail：tr-info@med.kyushu-u.ac.jp



ご準備いただくとスムーズです

- ・研究概要や相談したい内容をまとめた資料（あれば）
 - ・応募を検討しているシーズの概要（研究開発概要のドラフト等）
- ※出来合いの資料でも差し支えございません。



今後の公募予定

現在公募中のシーズA・preF/F/B/F#/Cに加え、今後は以下の公募を予定しています。

シーズH

異分野技術の医療応用を支援

医歯薬系以外の先端技術・知識を活用し、
医療イノベーションの創出を目指す
研究開発課題を支援します。

対象となる研究のイメージ



公募時期（予定）

令和8年秋ごろ

シーズs

大学発医療系スタートアップの創出・成長を支援

大学等の研究成果を元にした起業活動を支援し、
研究成果の社会実装と産業化によるイノベーション創出を
目指す研究課題を支援します。

対象となる研究のイメージ



公募時期（予定）

公募時期未定

※詳細は決定次第、
ウェブサイトでご案内します。



最新情報はウェブサイトでご確認ください。

お問合せ先

九州大学
生命科学革新実現化拠点
橋渡研究推進部門

 092-642-4803

 nw-info@med.kyushu-u.ac.jp

 <https://www.aro.med.kyushu-u.ac.jp/hashiwatashi/>



公募要領・申請書類
のダウンロード先



(<https://www.aro.med.kyushu-u.ac.jp/hashiwatashi/>)

